

2025 年度

企業家研究フォーラム賞 受賞者講演会

※オンライン開催

企業家研究フォーラム（企業家活動を総合的・学際的に研究する学会、会長：粕谷誠東京大学大学院経済学研究科教授、事務局：大阪商工会議所大阪企業家ミュージアム）は、企業家活動の研究・調査を通じて経済と社会の活性化を図ることを目的に、毎年「企業家研究フォーラム賞」を選定しています。

このたび、同フォーラムの活動と研究の成果を広く社会に発信するため、2025 年度同学会賞の受賞者による講演会を開催いたします。この機会にぜひとも学界の研究成果をご聴講ください。

2025 年度「企業家研究フォーラム賞」受賞作品（『企業家研究』第 23 号、2024 年 2 月発行に掲載）

【論文の部】 『家庭の価値規範と子の起業選択—台湾家計パネル調査に基づく分析結果から—』

東京経済大学経営学部准教授 土屋隆一郎氏

『製靴産業における松田一郎の加硫圧着式製法の開発』

和歌山大学経済学部教授 長廣利崇氏

<講演会開催概要>

【日 時】2026 年 1 月 27 日（火）15:00～16:45（質疑応答含む）

【場 所】オンライン（ZOOM）開催 ※会場開催はありません。

【参加費】無料

【内 容】15:05～15:50 『家庭の価値規範と子の起業選択—台湾家計パネル調査に基づく分析結果から—』

東京経済大学経営学部准教授 土屋隆一郎氏

（講演概要） 本講演は、台湾の家計追跡調査データを用いた、起業選択の要因に関する分析の結果を取り上げます。分析では、特に出身家庭の価値規範が起業選択に与える効果に注目します。その際、多種ある価値規範の中で、台湾の家族関係を規定する価値規範に焦点を当てます。本研究で用いる、台湾中央研究院が実施した家計追跡調査の個票の一部から構成されるデータには、調査回答者の出身家庭についての詳細な情報が含まれています。分析結果によれば、パートナーシップを重視する価値規範は、起業した者としなかった者の違いを説明する顕著な要因になっています。一方で、家の体面の維持を含む価値規範は、一部、起業率を低下させるという結果も見られましたが、この効果の有意性は、モデル選択に依存するものでした。

15:50～16:35 『製靴産業における松田一郎の加硫圧着式製法の開発』

和歌山大学経済学部教授 長廣利崇氏

（講演概要） 個人企業家の技術開発は、経済成長を促す重要な要因の 1 つである。本講演では、ゴムと革を加硫圧着し、1920 年代において、国際的にも新奇性の高いゴム底革靴の製造技術確立した松田一郎（1894-1966）の事業活動を取り上げる。松田は、当時の製靴業で使用されていた接着剤の限界を的確に認識し、加硫ゴムを革に直接圧着する方法を独自に考案した。この技術的着想には竹の根の強靱さへの偶発的な発見も寄与した。社会的条件や経済的環境、個人の経験、時代的背景が複合的に作用するなかで技術開発が実現したことをみる。

16:35～16:45 質疑応答

【申込み】メール件名を「1/27 講演会参加」とし、①お名前、②会社・団体・大学等（該当しない場合記入不要）、③所属・役職名（該当しない場合記入不要）、④TEL、⑤E-mail をメール本文に入力の上 museum@osaka.cci.or.jp にお送り下さい。開催約 1 週間前に視聴 URL をお送りします。

【問合せ】大阪商工会議所 人材開発部 大阪企業家ミュージアム

TEL：06-4964-7601 /E-mail：museum@osaka.cci.or.jp

以 上